

第1回保健福祉政策審議会 主要な意見（HP掲載用）

- 1 日時 平成30年11月9日（金）13時30分～
- 2 場所 保健福祉会館4階こころの健康相談室
- 3 議題 （2） 岡山市第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（地域包括ケア計画）の進捗状況について
- 4 主要な意見
 - デイサービスの中での就労作業について、認知症の方であってもできる作業はたくさんある。誰でもできること、少し技術のいることなどいろいろあるので、分配しながらやっている。また、指先を使う作業は作業療法になるし、役に立っていることがモチベーションにもなるので、やっていく価値はあると思っている。
 - 地域包括支援センターの人手不足について、医療人材が減っていることから、年齢制限があるのであれば、それを引き上げて活用することを検討してはどうか。
 - 介護保険事業計画の取組は、行政とそれに関わっている人だけでなく、地域の人を巻き込んですべき。
 - 市や社協の取組が見える化し、近所の方の安否が気になるなど、何かあったとき、どこへ話を持っていけばよいかわかるようにしてもらいたい。
 - 地域包括支援センターは17時以降電話が通じない。仕事をしている人が利用しやすいように、勤務形態を変更するなどして、21時くらいまでつながるようにしてもらいたい。
 - AIケアプランについては、これから活用する中でいろいろなことが見えてくるので、プラス思考で見えていかななくてはならない。今は、ケアマネの視点で、あまり医療系サービスを利用していないが、AIから医療系サービスを取り入れたプランが出ることで、医療系サービスへもつなげていくというふうに改善していけばよいと思っている。